旧井川自然の家の活用について



井川牧場からの景色

1 アクセス



アクセス

JR静岡駅～車で1時間30分　新東名新静岡IC～車で1時間5分　東京ヘリポートからヘリで60分圏内

2 位置図



旧井川自然の家



旧井川自然の家職員住宅



リバウェル井川



井川牧場



3 概要 ①

所在地　葵区井川3055-1
開設　昭和51年4月1日（1976年）築50年
※新館部分：令和元年度に大規模改修工事を実施
面積　土地91,542㎡　延床5,526㎡
耐震　Ⅰｂ　**利用者数**　約7,000人（令和5年度）
建物　宿泊棟　宿泊室26部屋（個室・大部屋）
集会室、浴室（男女各1）、食堂（320席）、体育館、テントサイト（5サイト・炊事棟）他







旧井川自然の家職員住宅

開設　2002年　築23年
耐震　Ⅰｂ
部屋数　6部屋（バストイレ付）













3 概要 ②

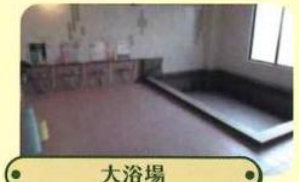

食　堂


多目的ホール


新館1階　特別室


集会室


一般室


大浴場

井川自然の家　館内見取り図



井川自然の家キャンプセンター




大型テント


ドーム型テント


テントサイト


炊飯棟


集会広場


シャワー棟


キャンプセンター管理棟

4 周辺施設

A-1 井川

南アルプス赤石温泉「白樺荘」

南アルプス登山の定番温泉です。泉質は単純硫黄泉で、大浴場のほか露天風呂、多目的浴室もあります。宿泊室は2人部屋(7室)と4人部屋(3室)があります。



旧井川自然の家～
車で約50分

B-1 井川

南アルプス井川オートキャンプ場

井川ダム最上流部の湖畔に位置するオートキャンプ場です。テントサイトは41区画あり、炊飯室、水洗トイレ、温泉風呂、有料ランドリー、有料温水シャワーがあります。



旧井川自然の家～
車で約35分

B-2 井川

口坂本温泉浴場

清らかな渓流と山々に囲まれた落ち着いた雰囲気の温泉です。ナトリウム炭酸水素塩温泉のお湯は独特の肌触りで、一度入るとファンになること間違いなしです。



旧井川自然の家～
車で約24分



ハイキングコースあり！
秋には燃えるような紅葉を楽しめます！

南アルプスユネスコエコパークミュージアム

廃校となった旧井川小学校をリノベーションした、南アルプスの自然と文化を体感できるミュージアム。
見どころの「大型パノラマシアター」では、登山者しか見られない雲上の絶景や高山植物の映像美を体感できます。井川湖を望むレストランでは、名物「ジビエバーガー」など大自然の味覚を絶景と共にお楽しみいただけます。



旧井川自然の家～
車で約24分

B-2 井川

南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家

新静岡ICから車で1時間、標高約1,000mに位置し、豊かな自然環境を活かした活動プログラムも楽しめる社会教育施設です。令和2年度から特別室(5人部屋)を4部屋設け、ご家族・個人での利用も可能となりました。

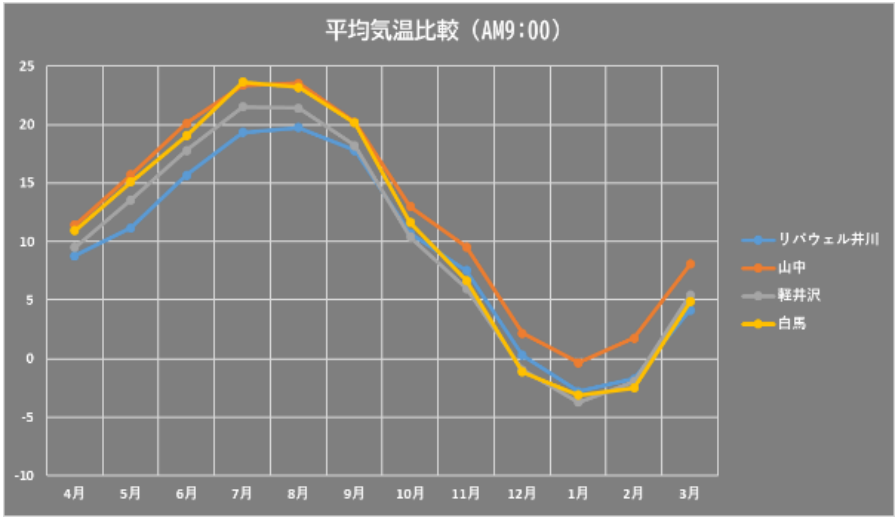


差し替え

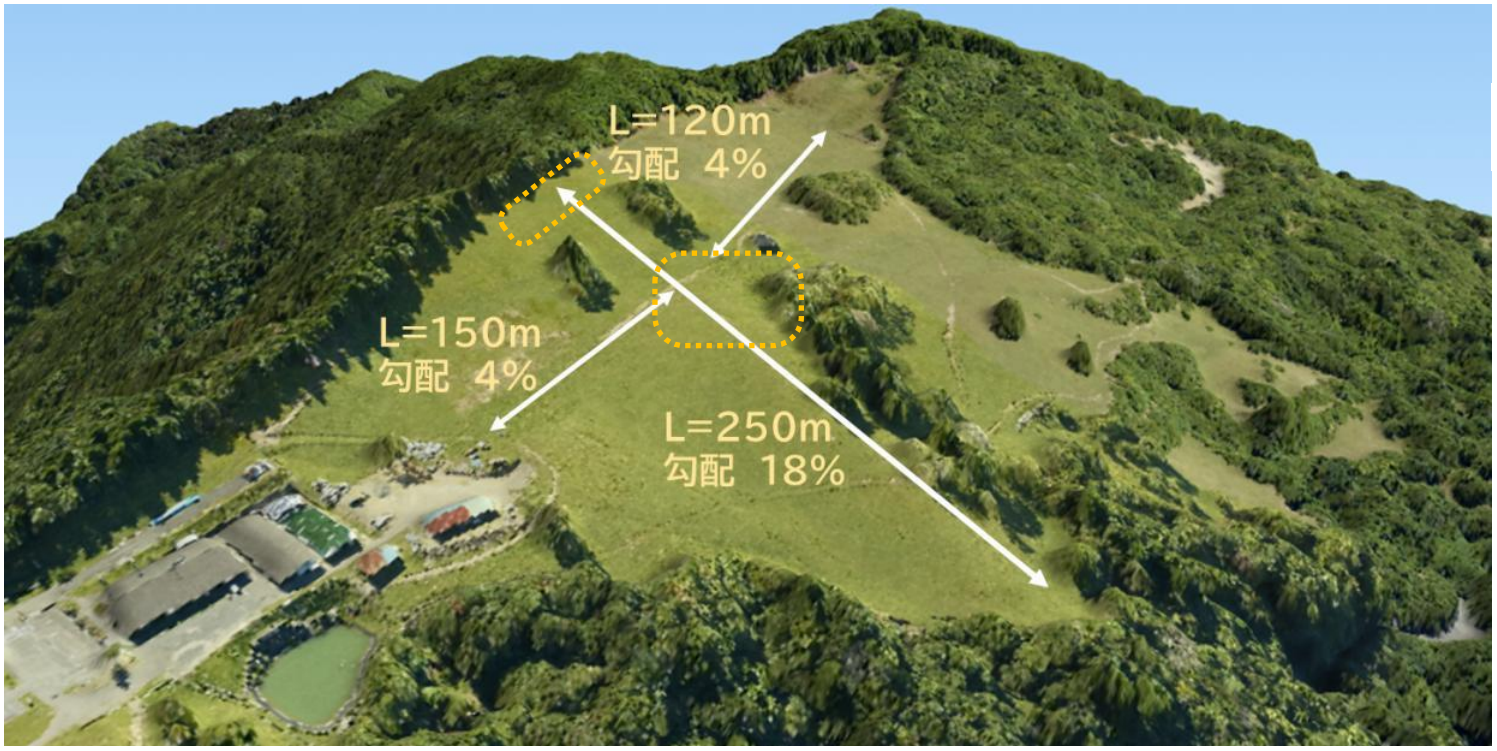
5 リバウェル井川スキー場 概要



標高　1,430m
アクセス　新静岡ICから約42㎞(約1時間20分)
夏季天候　平均気温19.0℃(7～9月　AM9:00)
晴天日数46日(7～9月　92日中)
利用可能面積　リバウェル井川スキー場　約16ha
井川牧場　約5.5ha
貸付料　295円／㎡・年(参考)
その他　令和8年度から新たな活用開始予定



6 井川牧場



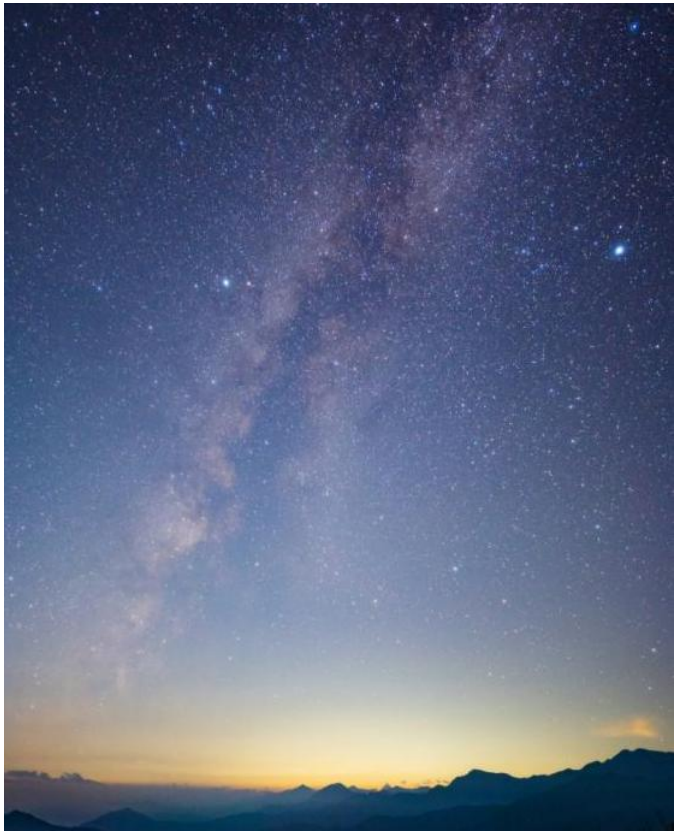
比較的
平坦な場所



7 リバウェル井川スキー場

所在地　葵区井川2629-190
開設　平成2年1月31日（1990年）
面積　敷地163,037㎡　レストハウス延床998.65㎡
耐震　Ⅰａ　**利用者数**　12,000人/年













8 井川在来作物

昔からその地域で守り育てられてきた昔ながらの野菜や作物を「在来作物」と言います。在来作物は、地域の伝統行事や食文化と密接な関係を持つ「地域の宝」です。

豊かな自然に恵まれ、古い歴史を持つ葵区の山間地では、多くの在来作物が残されています。

現在、わかっているだけで、その数は100種類以上。1つの地域だけでこんなにたくさんの在来作物が残っているのは、とても珍しいことです。

在来作物は、収量も少なく、形も不揃いなことから、今ではほとんど栽培されていません。しかし、品種改良された現在の作物にはない風味を持ち、味が深いのが特徴です。

最近では、静岡市の中山間地域「オクシズ」で守られてきた幻の食材が、街なかの「おまち」の飲食店やレストランの間で注目されています。

出典：南プスホームページ



井川大蒜

小粒で赤い在来ニンニクです。肉質がしっかりしていて、粘りが強いのが特徴です。地元ではすりおろして鹿肉と合わせたり、にんにく味噌を作って食べます。昔は焼畑でも栽培したそうです。
井川での呼び名である「おおびる」は、平安時代の書物にも記されるニンニクの古い言い方です。



井川にら

ニラは中華料理のイメージが強いですが、古事記にも記されている古い野菜です。
静岡県の山間地には数系統の在来のニラが残っていますが「井川にら」もその1つです。小ぶりですが、生で食べられるほど甘みが強いのが特徴です。



ダレキビ

モチ種のキビです。井川では、穂が垂れ下がっている様子からダレキビあるいはタレキビと呼ばれています。
実が黄色いものと白いものがあり、黄色い品種はご飯に混ぜると色鮮やかで、味だけでなく目も楽しませてくれます。
そのほか、井川の人々が今も好んで食べるのは、きな粉をまぶしたキビのぼたもちです。



井川なす

井川で古くから食べられていたナスです。絶滅していたと思われていましたが、井川から街へお嫁に行った方の家庭菜園で作り続けられていました。
大きくなればなるほど、おいしくなると言われているナスです。



地這いキュウリ

一般にキュウリは支柱を立てて育てますが、このキュウリは古くから地面を這わせて育てます。昔は水筒代わりに腰にぶら下げていったと言われるほど、水分たっぷりのキュウリです。地元では、味噌汁の具などにします。
緑色のものや黄色いものなど、いくつかの種類があります。



井川黒がら

古くから栽培される在来の里芋。井川の里芋は「黒がら」「赤がら」「青がら」など多くの種類があります。黒がらは柔らかく、青がらはホクホクした食感が特徴です。
「がら」というのは、芋の茎の「芋がら（ずいき）」の意味で、黒がらは、茎が黒紫色をしています。

井川地域は、豊かな自然環境や南アルプスを望む抜群の景色
地域独自の在来作物など、多くの魅力があります。

井川地区ではR6年度に、旧井川小学校を活用した南アルプスユネスコ
エコパークミュージアムもオープンしました。

資産の活用に向け、ぜひ多くのご意見をいただきたいです！
よろしくお願いします。

特にご意見をいただきたい内容

★エリアでの一体的な活用の可能性

★参画の可能性が高まる事業スキームや募集の条件　等

【お問い合わせ先】
静岡市役所　社会共有資産利活用推進課　資産活用第1係

☎：054-221-1602
✉：asset-suishin@city.shizuoka.lg.jp